

CSR REPORT

2022年
CSR報告書



鈴木工業株式会社



目次

1. トップメッセージ	1
2. SDGsへの取り組み	2
3. 2021年度産業廃棄物処理状況	4
4. 測定結果	6
5. 環境貢献活動	8
6. IMS-統合マネジメントシステム	11
7. 社会貢献活動	13
8. BCM-事業継続マネジメント-	16
9. パンデミック対策	17

会社情報

商号	鈴木工業株式会社
代表者	代表取締役 鈴木 伸彌
本社	宮城県仙台市若林区卸町東五丁目3番28号
エコミュージアム21	宮城県仙台市宮城野区仙台港北二丁目14番地の3
再生館	宮城県仙台市若林区卸町東四丁目4番25号
従業員数	82名
資本金	6000万円
グループ会社	東伸環境株式会社 光輝ビルテクノ株式会社 東日本油化工業株式会社

1. トップメッセージ

世界経済の著しい発展の陰で、地球規模での環境破壊が深刻化し、人間社会の大きな痛みとなって表れてきています。一方、環境の改善を行う為に循環型社会形成推進基本法の整備も行われ、廃棄物の発生量を減らし、発生した廃棄物は再資源化に移行する等、排出事業者の3Rの意識は年々高まってきました。

今後、持続可能な社会発展をさせていくには、循環型社会を構築しリサイクルへのあらゆる可能性にチャレンジしていくことは必要不可欠です。当社は1966年の創業から55年にわたり環境をテーマにお客様の課題解決を通じて社会と産業の発展に貢献してきましたが、今後は、長年の経験だけでなく新しい発想を取り入れながら地域に根差した

Good Company = 「選ばれる企業」を目指してまいりますので、皆様のご指導、ご厚情、ご愛顧を賜りますようよろしくお願い致します。



鈴木工業株式会社
代表取締役

鈴木 伸彌

2. SDGsへの取り組み

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



当社ではよりよい未来のために、持続可能な資源循環型社会を作ることを使命としています。そのためSDGsの考えに則り、事業活動を通して避けることのできない環境問題に真摯に向き合い、取り組んでおります。

環境への取り組み

環境と労働安全衛生に十分な配慮をしながら品質向上へ取り組み続けており、確かな技術で廃棄物の処分・リサイクルを行っています。法令遵守しながら地球環境の保全に努めてまいります。



産業廃棄物処理状況 ⇒ P. 4
測定結果 ⇒ P. 6

環境貢献活動 ⇒ P. 8



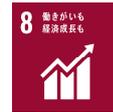
生活への取り組み

上水・下水道施設の清掃や各種整備のメンテナンスを通じて、各施設が安全かつ衛生的に利用できるよう管理を行っております。



IMS（総合マネジメントシステム）⇒ P. 11

資格取得支援 ⇒ P. 12



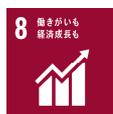
地域への取り組み

子供・若者の健全育成を支援する活動にも力を入れており、BCM（事業継続マネジメントシステム）によるパンデミックへの迅速な対応や災害時の早期復旧・事業継続で地域のインフラの復興・機能の維持に貢献します。



社会貢献活動 ⇒ P. 13

BCM（事業継続マネジメント）⇒ P. 16
パンデミック対策⇒ P. 17



3. 2021年度産業廃棄物処理状況



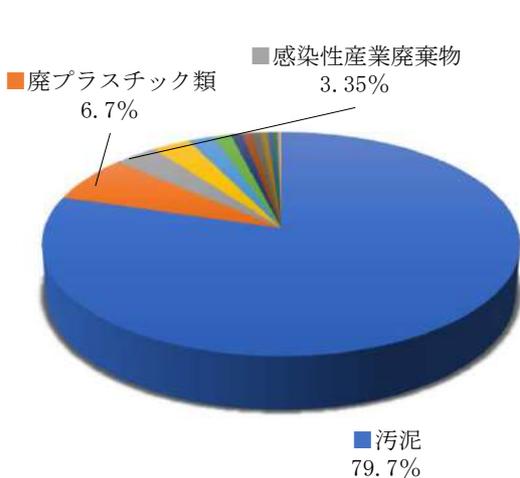
産業廃棄物処理施設「エコミュージアム21」

「IS09001」「IS014001」「IS045001」の認証取得により、環境と労働安全衛生に十分な配慮をしながら品質の向上に取り組み続けております。各処理施設に必要とされる技術資格者を配置し、確かな技術で廃棄物の処理・リサイクルを行い、法令遵守の下、地球環境の保全に努めてまいります。

2021年度に当社の処理施設へ受け入れた産業廃棄物の総量及び処理状況です。多品目の廃棄物に対して、適切な処理施設にて中間処理を行い、廃棄物の減容化、リサイクルに努めております。

■ 受入総量及び品目割合

廃棄物受入総量19662.7t（前年度比13%増）

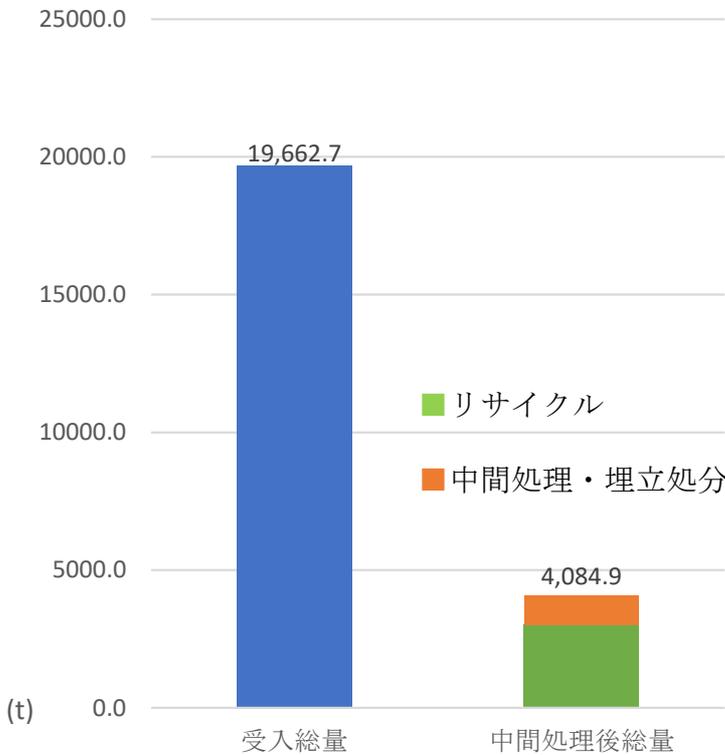


[2021年度受入割合]

産業廃棄物の種類	受入量(t)	割合 (%)
汚泥	15,672.387	79.706%
廃プラスチック類	1,323.228	6.730%
感染性産業廃棄物	658.764	3.350%
廃油	575.627	2.928%
動植物性残さ	390.469	1.986%
廃酸	267.023	1.358%
木くず	174.945	0.890%
金属くず	149.266	0.759%
ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず	125.325	0.637%
引火性廃油	116.669	0.593%
廃アルカリ	80.992	0.412%
動物系固形不要物	58.270	0.296%
汚泥（有害）	27.934	0.142%
燃えがら	23.535	0.120%
強酸	6.460	0.033%
紙くず	4.860	0.025%
強アルカリ	4.213	0.021%
燃えがら（有害）	2.720	0.014%

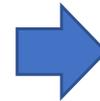


産業廃棄物処理状況



廃棄物受入総量 : 19,662.7t
 中間処理後数量 : 4,084.9t

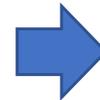
減容率



79%

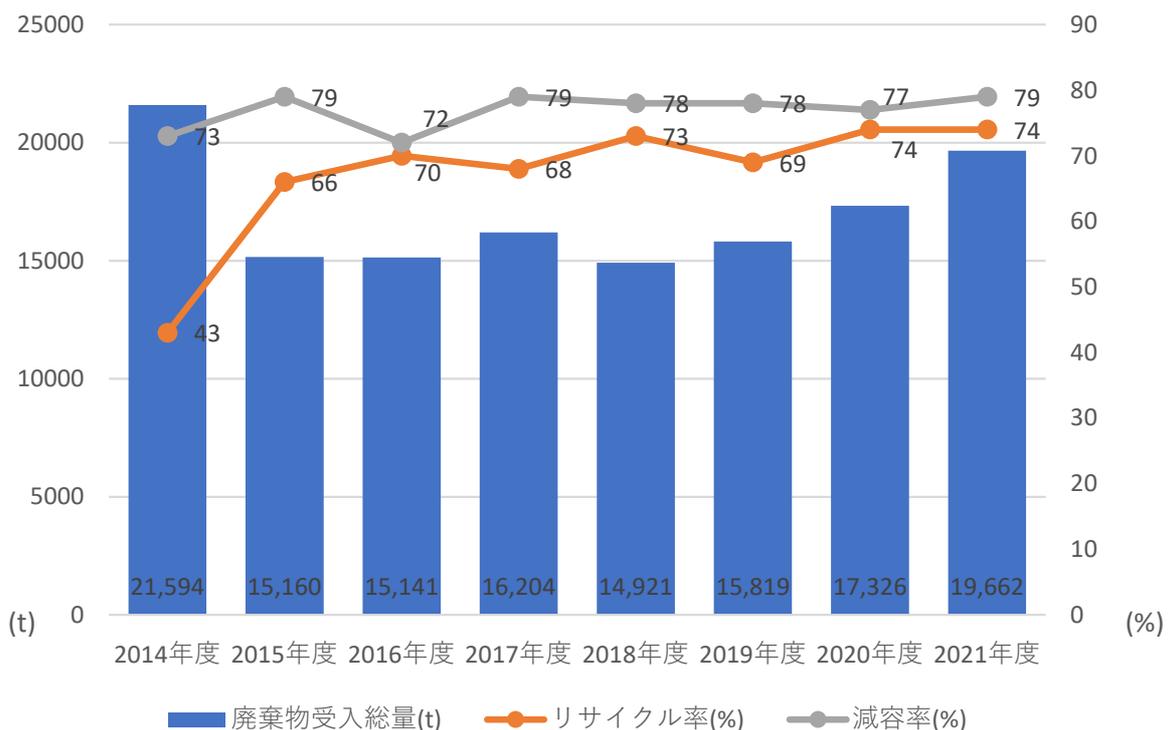
リサイクル : 3,014.5t
 中間処理・埋立処分 : 1,070.4t

リサイクル率

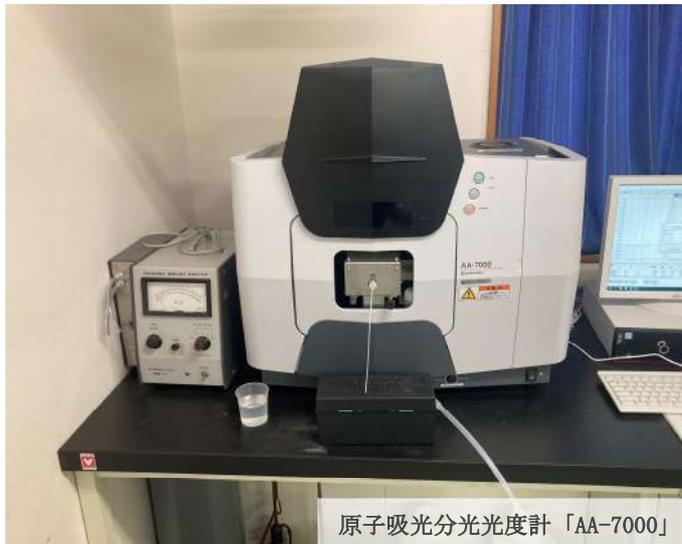


74%

処理状況推移



4. 測定結果



原子吸光分光光度計「AA-7000」



ガスクロマトグラフ質量分析計「GCMS-QP2020 NX」

産業廃棄物処理施設「エコミュージアム21」では分析室を設け、焼却施設から排出される焼却灰・ばいじん、脱水施設から下水道放流する排水等の自主分析を行い、排出基準を遵守するよう努めております。また、搬入される産業廃棄物について、有害な物質が含まれてないか調べる場合もあります。

■ 焼却処理施設排ガス測定結果

排ガス採取日 結果が得られた日	ダイオキシン類 (ng-TEQ/m ³ N)	硫黄酸化物 (m ³ N/h)	ばいじん (g/m ³ N)	塩化水素 (mg/m ³ N)	窒素酸化物 (ppm)	水銀ガス状 (μg/m ³ N)	水銀粒子状 (μg/m ³ N)
2021/6/16～ 2021/7/15	1.6	0.0031	0.01	16	43	3.3	0.0088
2021/9/1～ 2021/9/27	2.5	0.01未満	0.0006	18	52	-	-
2021/12/15	-	0.01未満	0.012	60	40	0.2	0.000005未満
2021/12/28	-	0.0039	0.002	15	48	0.052	0.001未満

焼却処理施設から排出されるガスは年に1回以上、検査機関に依頼し測定しております。

■ 焼却処理施設維持管理状況

	実施日
ばいじん除去及び冷却設備メンテナンス	4/9、4/10、4/27、4/28、6/5、6/6、7/16、7/17、8/6、8/7、8/8、8/20、8/22、 9/17、9/18、10/15、10/16、11/4、11/5、11/25、11/26、12/16、12/17、1/6、 1/7、1/27、1/28、2/11、2/12、3/3、3/4、3/24、3/25

除去したばいじんについては最終処分場にて埋立処理及び、中間処理場にて処分しております。

■ 有機汚泥処理施設放流水測定結果

(単位:mg/l (pH 除く))	基準値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
pH	5を超え9未満	6.8	7.1	7.0	6.9	6.7	6.7	6.7	6.8	6.9	6.5	6.6	6.6
BOD	600未満	3.9	-	-	1.1	-	-	7.0	-	-	1.3	-	-
SS	600未満	13	-	-	4.6	-	-	15	-	-	2.9	-	-
ノルマヘキササン	30以下	0.5 未満	-	-	0.5 未満	-	-	2.5	-	-	0.5 未満	-	-
亜鉛含有量	2以下	0.3	0.1	0.3	0.1 未満	0.4	0.1 未満						
溶解性鉄含有量	10以下	0.3 未満	0.3 未満	0.3 未満	0.3 未満	2.1	0.3 未満						
鉛及びその化合物	0.1以下	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.01 未満	0.09	0.01 未満						
トリクロロエチレン	0.1以下	0.001 未満											
テトラクロロエチレン	0.1以下	0.001 未満											
ジクロロメタン	0.2以下	0.001 未満											
四塩化炭素	0.02以下	0.001 未満											
1,2-ジクロロエタン	0.04以下	0.001 未満											
1,1-ジクロロエチレン	1以下	0.001 未満											
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.4以下	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.001 未満	0.002	0.001 未満						
1,1,1-トリクロロエタン	3以下	0.001 未満											
1,1,2-トリクロロエタン	0.06以下	0.001 未満											
ベンゼン	0.1以下	0.001 未満											
ふっ素	8以下	0.2 未満											
ほう素	10以下	0.2 未満											
アンモニア性窒素 亜硝酸性窒素	380未満	15	-	-	0.5	-	-	0.2	-	-	0.4	-	-

■ 無機汚泥処理施設放流水測定結果

(単位: mg/l(pH除く))	基準値	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
pH	5を超え9 未満	7.4	7.2	7.5	7.3	6.9	7.1	7.2	7.2	6.5	7.2	7.0	7.0
BOD	600 未満	0.8	-	-	0.8	-	-	0.6	-	-	0.5	-	-
SS	600 未満	1.9	-	-	1.9	-	-	2.5	-	-	2.1	-	-
ノルマルヘキササン	5 以下	0.5 未満	-	-									
亜鉛含有量	2 以下	0.1 未満											
溶解性鉄含有量	10 以下	0.3 未満											
鉛及びその化合物	0.1 以下	0.01 未満	0.02	0.01 未満									
トリクロロエチレン	0.1 以下	0.001 未満											
テトラクロロエチレン	0.1 以下	0.001 未満											
ジクロロメタン	0.2 以下	0.001 未満											
四塩化炭素	0.02 以下	0.001 未満											
1,2-ジクロロエタン	0.04 以下	0.001 未満											
1,1-ジクロロエチレン	1 以下	0.001 未満											
シス-1,2-ジクロロエチレン	0.4 以下	0.001 未満											
1,1,1-トリクロロエタン	3 以下	0.001 未満											
1,1,2-トリクロロエタン	0.06 以下	0.001 未満											
ベンゼン	0.1 以下	0.001 未満											
ふっ素	8 以下	0.2 未満											
ほう素	10 以下	0.2 未満	0.2 未満	0.2 未満	0.2 未満	0.2	0.2	0.2 未満					
アンモニア性窒素 亜硝酸性窒素	380 未満	0.3	-	-	0.4	-	-	0.4	-	-	0.4	-	-

5. 環境貢献活動

政府の最重要課題として考えられているCO₂削減（地球温暖化対策）ですが、当社も企業理念の中で「地球環境に配慮した企業活動が人類共通の最重要課題であることを認識し、当社の事業活動から生じるあらゆる環境側面・環境影響の改善を通じ、環境保全の更なる向上を目指します」と掲げており、積極的にCO₂削減に取り組んでおります。

電子契約サービスの導入

2022年1月より



従来の契約締結までの流れでは、紙などの天然資源を原料とするものを多く消費していました。当社では2022年1月より電子契約サービスの導入をすることでそれらの資源の消費を抑制し、環境に配慮すると同時に様々なコスト削減に努めています。

電気フォークリフトの導入



当社で利用してきたフォークリフトの老朽化に伴い、2021年8月30日に新たに電気フォークリフトを1台納車いたしました。従来のフォークリフトは軽油を燃料としていましたが、電気フォークリフトでは化石燃料を使用しないためCO₂排出抑制が可能になりました。

年賀状の廃止

2022年から、年賀状でのご挨拶を控えさせていただく方針をとりました。これにより微力ではありますが、更なる資源消費の抑制に努めてまいります。

電気自動車によるCO₂排出量削減



電気自動車は従来のガソリン車と異なり、電気を使い走行するためCO₂を排出しません。そのため当社では電気自動車の稼働率を高め、CO₂排出量の削減に努めています。

2021年度電気自動車によるCO₂排出削減量



※電気自動車は走行時においてCO₂を発生させることはありませんので、比較対象とする普通自動車のCO₂排出量をそのまま削減量としております。

CO₂排出削減量合計

509,718 g



杉の木**36**本分相当の
CO₂排出削減効果

※杉の木の年間CO₂吸収量、約14kgをもって換算しています。

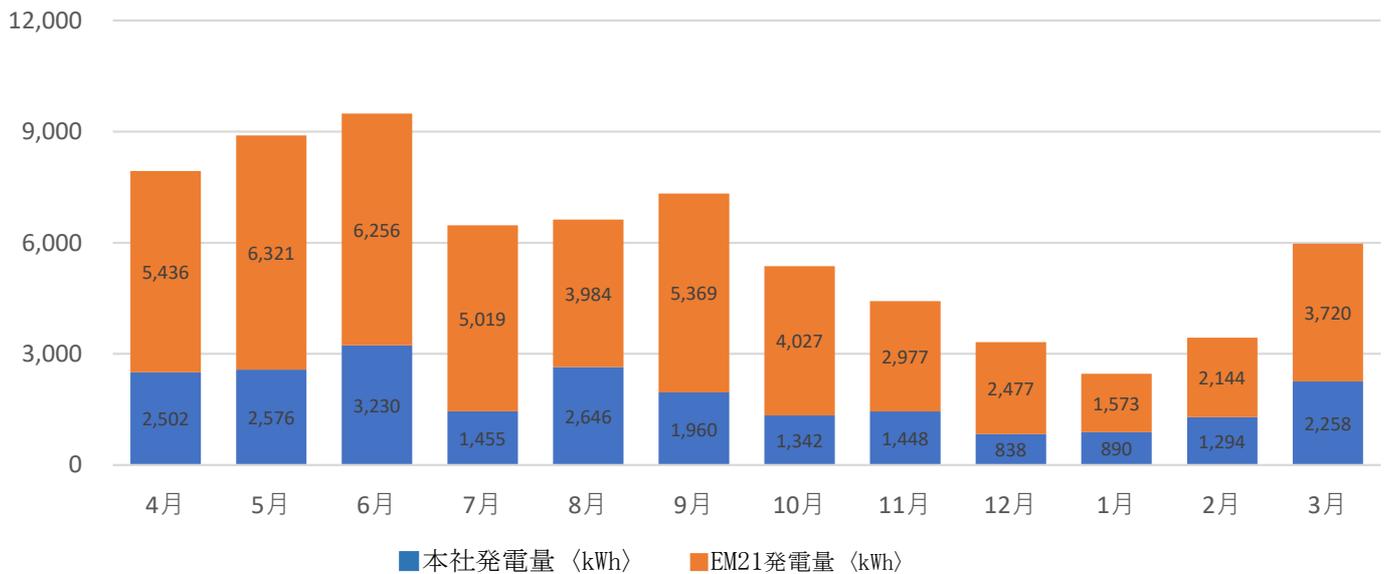
太陽光パネル・ハイブリッド照明による発電



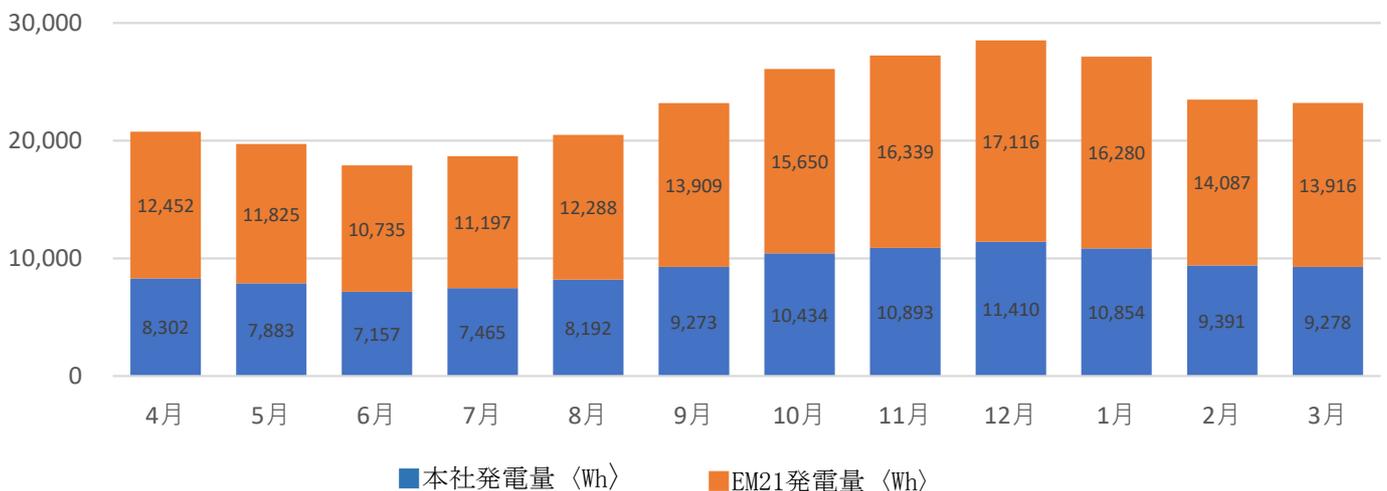
本社屋上の太陽光パネルとハイブリッド照明

本社及びエコミュージアム21には太陽光パネル、ハイブリッド照明を設置しています。太陽光パネルにより発電した電力は、電力会社へ売電を行い環境負荷低減に貢献しています。風力と太陽光を利用したハイブリッド照明で発電した電力は内臓バッテリーに蓄電し夜間照明に使用しています。

太陽光パネル



ハイブリッド照明



6. IMS（統合マネジメントシステム）

鈴木工業株式会社では環境と労働安全衛生に十分な配慮をしつつ、お客様に提供するサービスの品質の向上を目指しております。そのための管理手段として各種認証規格を取得し、品質（ISO9001）、環境（ISO14001）、労働安全衛生（ISO45001）3つのマネジメントシステムを統合して運用しております。

企業理念

鈴木工業株式会社は、お客様に満足していただくために、高品質のサービスを効率よくお約束どおり実施します

地球環境に配慮した企業活動が人類共通の最重要課題であることを認識し、当社の事業活動から生じるあらゆる環境側面・環境影響の改善を通じ、環境保全の更なる向上を目指します

「人命尊重」を第一とした労働安全衛生への取り組みを推し進め、労働災害の防止と職場環境の更なる向上を目指します。

IMS方針

1. 顧客満足の取り組み

お客様の視点で考え、常に変革と改善を求めて行動します。プライドと責任をもって、確実かつ適切に行動し、「満足」から「感動」の実現を約束します

2. 環境負荷低減の取り組み

産業廃棄物の適切処理により、「環境保全」「減容化」「再資源化」を推進し、環境負荷の低減を図り自然および地域社会との協和に取り組みます。

3. 無事故、無災害の取り組み

労働災害および公衆災害の防止は企業の社会的責任と位置づけ、危険源を除去し、労働安全衛生リスクの低減を図ることで、当社で働く全従業員の安全と健康を確保し快適な職場環境を作ります。

4. 法令・規則事項の順守

事業活動に伴い適用されるすべての法規制、その他当社が同意した要求事項・自主基準を順守します

5. 継続的改善

当社の事業活動において生じる課題、利害関係者の要求事項、環境影響・重大リスクを特定し、目標を設定し、定期的に確認見直しを行い、継続的な改善を推進します。

6. 意識の向上

IMS方針は全従業員が理解できるように研修、掲示板等を通じて組織の管理下で働く人々に対し周知します。

7. 協議及び参加

当社で働く人々の意見を積極的に取り入れ、また双方向のコミュニケーションがとれる仕組みを維持します

8. 方針の公開

IMS方針はホームページ等を通じて一般の人が入手可能なものとします



巡回パトロール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施回数	13回	11回	10回	10回	8回	6回	9回	9回	8回	8回	9回	8回	109回



区画規制



墜落防止用器具の使用

自社だけではなく外部からの目も必要と考え、安全教育センターのコンサルティングのもと作業現場の巡回パトロールを行い労働安全衛生の向上に努めています。

資格取得支援

2021年度取得の資格

資格	取得人数	取得者総数
危険物取扱者（乙種4類）	1名	30名
公害防止管理者（ダイオキシン類）	1名	2名
2級管工事施工管理技士	1名	8名
一般毒物劇物取扱者	1名	6名
大型自動車第1種運転免許	3名	23名
第二種電気工事士	1名	4名
2級建設機械施工管理技士	1名	3名
フォークリフト	7名	34名
中型自動車第1種運転免許	3名	60名
玉掛け	2名	21名
小型移動式クレーン	1名	23名
酸欠欠乏・硫化水素危険作業主任者	9名	32名
車両系建設機械運転技能	4名	16名

資格取得者の増員により業務の質が向上しました。

さらなる技術向上を目指し、研修会等にも参加しております。

また、中型・大型車両の免許取得の際にかかる教習費用を全額負担、資格取得報奨金制度の導入により、従業員のスキルアップに力を入れています。

※上記のほか、多数の資格の保有者がおります。

7. 社会貢献活動

わたしたちの森づくり事業『みんなの森』



2021年11月25日 「森林づくり・木づかい」
表彰式

宮城県利府町役場北方に位置する県有林に『みんなの森』と名付け、宮城県森林インストラクター協会のご協力を得て森林整備を実施しております。2021年度、宮城県とのわたしたちの森命名権契約を更新しました。

今回、当社の10年間に渡る「みんなの森」活動に対し、宮城県の森林づくりに関し特に功績があると認められ、感謝状をいただきました。

引き続き森林整備活動を通し、地域貢献に尽くしてまいります。

『宮城県』と『仙台市社会福祉協議会』に寄付



2021年7月13日



2021年7月14日

55周年記念事業の一環として宮城県に新型コロナウイルス感染症対策のため、仙台市社会福祉協議会に地域福祉事業推進のため、寄付を行いました。

(写真左：宮城県へ、写真右：仙台市社会福祉協議会へ)

町内会へ草刈り機贈呈



2021年9月14日 草刈り機贈呈

55周年記念事業の一環としてエコミュージアム21の近隣町内会である桜木南区町内会に草刈り機を2台贈呈しました。

高校生応援カレンダープロジェクト



創立55周年を迎えるに当たって、河北新報社とコラボし、高校生の作品でカレンダーを作る“高校生カレンダープロジェクト”を企画しました。近年の環境問題への関心を若い世代で高めてもらうため、初回は仙台城南高等学校様からご協力いただき、SDGsをテーマに2022年のカレンダーが完成し、令和3年11月8日に贈呈式を行いました。新型コロナウイルス感染症がまん延する中で、作品の発表の機会や活躍の場が減っている高校生の活動支援するためにも当社では、これからも宮城県内の多くの高校生からご協力いただき、本プロジェクトの充実を図ってまいります。



選出された作品

若者の健全育成支援活動



若者の健全な心と体を育む活動を支援するため、教育機関等に対する支援活動を行っております。2021年度は仙台89ERS様のご協力を頂き県内1校へ練習ボールの寄贈を行いました。

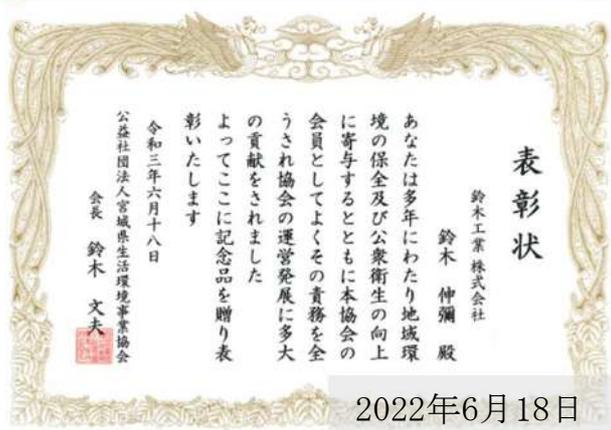


交通死亡事故ゼロキャンペーン



みやぎ交通死亡事故ゼロキャンペーンの取り組みに対して、宮城県警察本部様より感謝状をいただきました。今後も交通死亡事故の抑止を目指して、本キャンペーンを推進してまいります。

地域環境の保全活動



地域環境の保全及び公衆衛生の向上に貢献したとして、宮城県生活環境事業協会様より表彰状をいただきました。今後も地域環境に配慮した業務を心がけてまいります。

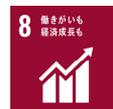
仙台「四方よし」宣言



「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」の三方よしに「働き方よし」を加えた四方よし企業として宣言を行いました。主な取り組みとして、資格取得支援、特別休暇取得の推進をしています。

2021年8月3日

8. BCM -事業継続マネジメント-



各サプライヤー及び同業者との取り組み



BCM（事業継続マネジメント）とは、組織にとって重要な事業の継続能力を維持・改善させる為の活動を指します。当社では、協力先企業であるサプライヤー（仕入先）や県外同業者や協会団体へ、非常事態時の連携強化となる「お互い様の取り組み」を提案し、互いの事業継続能力の維持・改善を進めております。

社内研修での取り組み



安全に対する意識及び技術力並びに接遇等の向上を目的とした社内研修会を定期的に行っております。

新型コロナウイルス対策を講じた上で2021年4月10日に第1回社内研修会、2021年7月31日に第2回社内研修会、2022年1月8日に安全大会を実施し、事故発生状況と事故事例の確認、安全パトロールの現場検証、安否確認訓練などを行いました。社員全員の安全に対する意識をより高め、作業事故ゼロを目指します。

9. パンデミック対策



新型コロナウイルス（COVID-19）の国内外での感染者数の継続的な拡大を受け、検温、手洗い、アルコール消毒等の感染防止策の徹底しています。また各部の分散化を図り、事業継続体制を確保しております。当社ではワクチン接種を推奨しており、接種されていない方には抗原検査を行って感染していないことを確認しています。

作業現場では対面で業務を行うにあたりいかにご安心いただけるかが、当社に向けられた要請であると考えております。

今後も社員一人一人の高い危機管理のもと、感染防止策に取り組んでまいります。

編集後記

今年も入社1年目の新入社員がCSR報告書の作成を担当することとなり、新入社員の我々は右も左もわからない状態で作成を始めましたが、先輩社員の方々の手助けでなんとか完成にまでたどり着くことができ、感謝しています。CSR報告書の作成を通して当社ではどのような理念で業務にあたっているのか深く知ることができ、鈴木工業という会社の一員としての誇りと自覚を持つことができたと思います。（阿部・亀山・峯俊）



本社

〒984-0002 仙台市若林区卸町東五丁目3番28号
 TEL 022-288-9201 FAX 022-288-9293
 E-mail info@suzukitec.co.jp



エコミュージアム21 〈産業廃棄物 処理施設〉

〒983-0007 仙台市宮城野区仙台北二丁目14番地の3
 TEL 022-254-0091 FAX 022-258-0403
 E-mail eco-m21@suzukitec.co.jp



再生館 〈産業廃棄物 リサイクル施設〉

〒984-0002 仙台市若林区卸町東四丁目4番25号
 TEL 022-287-0039 FAX 022-288-9293



www.suzukitec.co.jp